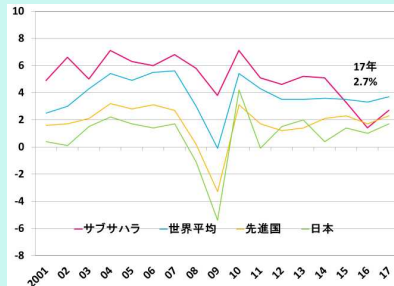


## 1 日本にとっての支援の意義

- ポテンシャルの高い大陸
- 2001年～2017年のサブサハラ地域の年平均成長率：約5%  
(右グラフ、出典IMF)
- 2050年には世界人口の1/4を占める**25億人強の市場**になるとの予測
- 技術の進歩により発掘が進む豊富な**鉱物・エネルギー資源**



- インド太平洋戦略の実践 – インフラ投資による連結性強化等
- 資源・市場確保
- 人間の安全保障の実践
- 紛争・テロ，食料安全保障，感染症，気候変動問題等への対処
- 国際場裡での支持確保
- 国連加盟国193か国中，アフリカは54か国

## 2 分野横断的な課題

- 国際資源価格の下落
- エボラ出血熱の流行
- 暴力的過激主義の頻発
- 経済多角化・産業化を通じた経済構造改革の促進
- 質の高い生活のための強靱な保健システム促進
- 繁栄の共有のための社会安定化促進



写真提供：内閣広報室HP

## 3 我が国の取組（アフリカ開発会議（TICAD））

- TICAD VI（2016年，ナイロビ）において
- 3年間（2016～18年）で官民総額300億ドル規模のアフリカの未来への投資を行う旨表明
- 2016年7月に開催した閣僚会合までに約50億ドルの支援を実施

### 経済の多角化・産業化



三重点地域の広域開発支援

### 保健システム強化



ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）達成支援  
保健政策の策定・実施を支援。

### 社会安定化



人道と開発協力の連携  
農業技術指導等により、難民支援・ホストコミュニティの開発協力を連携。



「ABEイニシアティブ」  
1,219名（2014～18年）のアフリカ各国研修員に，修士課程留学と日本企業でのインターンシップを提供。



保健・医療人材の育成  
2013年以降，95万人（2016年以降では，6,700人以上の感染症対策の人材育成。）



テロ対策  
情報共有や分析，国境管理能力強化と並び，教育や職業訓練等を実施。  
2013年以降，サヘル地域各国において約1,526億円の開発人道支援を実施。  
(写真提供：JICA)